

# フィールド風

(現場)からの風

宮田守男



刻々変わるワンマンカーの料金表示板。見慣れた風景も外国人には興味あるものに見えるのだろうか

フィールド(現場)の今を知りたい。外出する機会には、色々な交通機関を使用するよう心掛けている。冬の観光シーズン、大町での会議出席、昼の時間帯にJR大糸線を利用する。白馬駅から大勢

## 積極的に多様な現場に出て、地域を異なる視点で考えてみませんか

外国人が乗り込んでくる。若いカップルが正面に座る。女性が高機能のカメラで、ワンマンカーの料金表示が珍しそうな車内の様子や窓から見える風景にシャッターを押し続ける。近年、記念写真撮影とは異なる撮影者を見かけることが多くなった。ユーチューバーと

い。まだ日本には、ユーチューブの広告収入で生計を立てているのは数千人規模だが、海外では大変な人気だと聞く。人気のユーチューブに対しては、企業が商品の宣伝動画の制作を依頼する例も増えている。

最近のテレビの情報番組でも、外国人から見た日本をテーマにした番組が増えてきており、日本人の視点でない、ガイドブックに無い普段着の日本の紹介に日本を見つめ直した人も多いはずだ。日本には普通にあるが、外国には無いもの。大北地域には普通にあるものが、大北地域以外には無いものの発見には注目すべき視点ではないだろうか。

これらの視点で、社会での必要性を念頭に置いて事業構想を考え、見てはどうだろうか。思いついた「アイデア」や「気づき」をベースに、知恵を出し合い、情報を集め、構想案を練ることは多い。しかし構想は、これ以上の実効的展開ができないことが多い。

現場での情報収集で、この冬の観光事情を尋ねる。「昨年2月の悪天候で大幅減ったが、今年3月の売り上げは調子、海外のお客さんは伸びている。早めのインターネット予約で部屋は満室だ。だが、これまでの日本人リピーター(固定客)には、宿予約がままならないとの苦情。固定客が離れて行って心配だ。」外国のお客様の夜の食事は外食が中心、宿の売りの上の視点からも宿泊士が連携して夜の食事のあり方を研究したいとの声が聞ける。また自動車関係から

「フィールドリサーチ」手法が効果を生んでいる。事業構想は、思考空間にとどまってはいけない。そもそも「とまると」終わってしまう。思いついた構想を現場と連結するものが不可欠だ。現実空間と重複させることで、事業の案は磨きだされる。その接点を作り出すのが「フィールドリサーチ」だ。少数の検討委員が作り出すのではなく、現場の意見を聞く事が大切なのだ。その

「軽微な事故が減り、全体的な車両事故が目立つ、車両の電子機器化や車両安全対策の影響を思っている。今後ますます顕著化するのでは、普通道のリスクの高いドライブが敬遠される心配の声が気にかかる。

飲食店関係からは「スーパードリンク」で、店内で購入した商品を買って帰るというスタイルの店舗が増えてきている」との声。確かに各家庭でもお惣菜を買って、家庭で食べるスタイルが普通になってきている。単価的にもサービス料金は含まない分安く済むし、食べたい分や好きなものを食べる手軽さはない。店舗の商品内容の充実も見事だ。コンビニ戦略が飲食店も視野に入れた展開になることは確実だ。

コンビニのコーヒーはすっかり定着して、コンビニ専門店を併設し始めたとの声も聞く。全国統一のコンビニ戦略は、観光の魅力でもある沿道の飲食の楽しさが少なからずを意味している。いかに観光地での飲食の魅力ある提供が大切だ。自己満足でのメニュー提供では満足できない。そのほか、コンビニは食への戦略を求められ、今か今でも進んでいる地域全体で考えている。

(NPO法人信州地域社会フォーラム理事・白馬村森上)

「フィールドリサーチ」手法が効果を生んでいる。事業構想は、思考空間にとどまってはいけない。そもそも「とまると」終わってしまう。思いついた構想を現場と連結するものが不可欠だ。現実空間と重複させることで、事業の案は磨きだされる。その接点を作り出すのが「フィールドリサーチ」だ。少数の検討委員が作り出すのではなく、現場の意見を聞く事が大切なのだ。その

「軽微な事故が減り、全体的な車両事故が目立つ、車両の電子機器化や車両安全対策の影響を思っている。今後ますます顕著化するのでは、普通道のリスクの高いドライブが敬遠される心配の声が気にかかる。

飲食店関係からは「スーパードリンク」で、店内で購入した商品を買って帰るというスタイルの店舗が増えてきている」との声。確かに各家庭でもお惣菜を買って、家庭で食べるスタイルが普通になってきている。単価的にもサービス料金は含まない分安く済むし、食べたい分や好きなものを食べる手軽さはない。店舗の商品内容の充実も見事だ。コンビニ戦略が飲食店も視野に入れた展開になることは確実だ。

コンビニのコーヒーはすっかり定着して、コンビニ専門店を併設し始めたとの声も聞く。全国統一のコンビニ戦略は、観光の魅力でもある沿道の飲食の楽しさが少なからずを意味している。いかに観光地での飲食の魅力ある提供が大切だ。自己満足でのメニュー提供では満足できない。そのほか、コンビニは食への戦略を求められ、今か今でも進んでいる地域全体で考えている。

(NPO法人信州地域社会フォーラム理事・白馬村森上)